

出雲市全体 業種別景況（令和2年10月～令和2年12月期）

《全業種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	36.8	28.1	35.1	1.8	18.8	17.1	64.1	△ 45.3	15.5	25.6	58.9	△ 43.5
2 採算(経常利益)	27.6	43.5	28.8	△ 1.2	17.2	32.0	50.9	△ 33.7	8.9	39.3	51.8	△ 42.9
3 資金繰り	15.0	65.9	19.2	△ 4.2	10.9	57.0	32.1	△ 21.2	4.3	61.6	34.1	△ 29.9
4 従業員(含臨時・パート)	6.1	79.4	14.5	△ 8.5	11.0	66.9	22.1	△ 11.0	4.3	82.3	13.4	△ 9.1
5 商品(製品)在庫	12.5	72.4	15.1	△ 2.6	7.3	70.0	22.7	△ 15.3	6.7	74.0	19.3	△ 12.7
6 業況(自社)	21.3	51.5	27.2	△ 5.9	13.8	38.3	47.9	△ 34.1	6.6	47.0	46.4	△ 39.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	40.6	0.0	7.7	35.9	21.8	11.5	20.5	2.6	59.4
2 来期	34.4	3.2	11.1	31.7	20.6	11.1	19.0	3.2	65.6

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	67.9	7.2	7.1	9 金利負担の増加	0.0	2.2	0.0
2 新規参入業者の増加	0.6	5.8	5.3	10 代金回収の悪化	0.0	0.7	1.8
3 単価の低下・上昇難	4.4	15.1	5.3	11 事業資金の借入難	0.0	2.9	0.9
4 材料(原材料)等の入手難	1.3	2.9	1.8	12 従業員の確保難	14.5	10.1	9.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.6	7.2	10.6	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	1.9	15.1	25.7
6 人件費の増加	3.1	14.4	9.7	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	1.3	1.4	6.2
7 仕入・人件費以外の経費の増加	1.3	7.9	9.7	15 その他	2.5	3.6	5.3
8 商品(製品)在庫の過剰	0.6	3.6	0.9				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

《建設業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	8.0	52.0	40.0	△ 32.0	16.0	48.0	36.0	△ 20.0	20.0	32.0	48.0	△ 28.0
2 採算(経常利益)	8.0	68.0	24.0	△ 16.0	12.0	68.0	20.0	△ 8.0	8.0	60.0	32.0	△ 24.0
3 資金繰り	4.0	92.0	4.0	0.0	8.0	80.0	12.0	△ 4.0	0.0	92.0	8.0	△ 8.0
4 従業員(含臨時・パート)	8.0	72.0	20.0	△ 12.0	16.0	56.0	28.0	△ 12.0	0.0	88.0	12.0	△ 12.0
5 商品(製品)在庫	0.0	83.3	16.7	△ 16.7	0.0	83.3	16.7	△ 16.7	0.0	83.3	16.7	△ 16.7
6 業況(自社)	8.3	79.2	12.5	△ 4.2	12.5	70.8	16.7	△ 4.2	4.2	75.0	20.8	△ 16.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	46.4	0.0	7.7	30.8	30.8	7.7	23.1	0.0	53.6
2 来 期	43.3	7.7	15.4	15.4	23.1	7.7	23.1	7.7	56.7

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	60.0	5.6	0.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	5.6	7.7	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.0	16.7	7.7	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	4.0	0.0	0.0	12 従業員の確保難	20.0	16.7	15.4
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	0.0	0.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	16.7	23.1
6 人件費の増加	8.0	16.7	7.7	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	4.0	22.2	30.8	15 その他	0.0	0.0	7.7
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・R3後半からの売上減少が心配。
- ・コロナウイルス→感染対策としての備品の用意などはしましたが、結果的に多額ではなかった。
- 今のところは業況への影響はあまり感じていない。(但し今後は不透明)
- ・コロナウイルスにより、建築業界にも影響が出てきているように思われる。R3.4月以降の業績の悪化が心配である。

《 製 造 業 》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	51.4	17.1	31.4	20.0	25.7	11.4	62.9	△ 37.1	25.7	37.1	37.1	△ 11.4
2 採算(経常利益)	34.3	40.0	25.7	8.6	20.0	34.3	45.7	△ 25.7	17.1	48.6	34.3	△ 17.1
3 資金繰り	20.6	64.7	14.7	5.9	17.6	61.8	20.6	△ 2.9	5.9	67.6	26.5	△ 20.6
4 従業員(含 臨時・パート)	8.8	82.4	8.8	0.0	8.8	70.6	20.6	△ 11.8	8.6	82.9	8.6	0.0
5 商品(製品)在庫	14.3	68.6	17.1	△ 2.9	22.9	60.0	17.1	5.7	14.3	77.1	8.6	5.7
6 業況(自社)	25.7	42.9	31.4	△ 5.7	14.3	42.9	42.9	△ 28.6	8.6	60.0	31.4	△ 22.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	40.0	0.0	0.0	31.3	25.0	18.8	25.0	0.0	60.0
2 来 期	50.0	4.5	9.1	40.9	9.1	13.6	18.2	4.5	50.0

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	71.4	6.9	4.3	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	4.3	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	5.7	13.8	8.7	11 事業資金の借入難	0.0	6.9	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	0.0	4.3	12 従業員の確保難	11.4	13.8	13.0
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	6.9	17.4	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	5.7	20.7	39.1
6 人件費の増加	0.0	20.7	4.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	0.0	4.3	15 そ の 他	5.7	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	10.3	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- コロナの影響で全国の客先への営業活動がほとんど出来なかった。
- コロナ当初は中国よりのサプライチェーンからの部品の入手難がありましたが今は回復してきている。しかし、国内需要が非常に悪く、生産数が少ない状態です。
- 繊維部門は更に悪化と推測される。外国人技能実習生受入れ又は特定活動においても実体を全く考慮していない法整備の厳格化により、増々悪化していくと考えられる。
- コロナの影響でいまだ先行不透明。
- 好調…個人向けの小瓶、カップ 不調…業務用の一升瓶。
- 年末、年始にかけての雪が大きく影響した（不調の原因の1つ）。
- 10月ごろが受注、売上が回復傾向。
- GoToの影響で観光地での売上、ネット販売、ギフトは好調でした。1月からが不安（関東の緊急宣言後）。
- 現金売上の減少（地方発送品、店内来客）の一年でした。
- 先行き不透明。予測不能状態。夏からここまで売上が上がると思っていた。コロナでまた減少するのかも。
- 営業でのお客様訪問が難しい。

《卸 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	50.0	31.3	18.8	31.3	25.0	25.0	50.0	△ 25.0	6.7	13.3	80.0	△ 73.3
2 採算(経常利益)	31.3	43.8	25.0	6.3	18.8	31.3	50.0	△ 31.3	0.0	20.0	80.0	△ 80.0
3 資金繰り	25.0	62.5	12.5	12.5	12.5	56.3	31.3	△ 18.8	0.0	60.0	40.0	△ 40.0
4 従業員(含臨時・パート)	6.7	73.3	20.0	△ 13.3	13.3	73.3	13.3	0.0	0.0	92.9	7.1	△ 7.1
5 商品(製品)在庫	26.7	66.7	6.7	20.0	0.0	46.7	53.3	△ 53.3	7.1	64.3	28.6	△ 21.4
6 業況(自社)	25.0	62.5	12.5	12.5	0.0	43.8	56.3	△ 56.3	6.7	33.3	60.0	△ 53.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	18.8	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	81.3
2 来 期	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	75.0

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	71.4	7.1	0.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	9.1	10 代金回収の悪化	0.0	7.1	9.1
3 単価の低下・上昇難	7.1	21.4	0.0	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	7.1	7.1	0.0	12 従業員の確保難	7.1	7.1	9.1
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	7.1	14.3	18.2	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	14.3	18.2
6 人件費の増加	0.0	7.1	9.1	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	18.2
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	0.0	9.1	15 そ の 他	0.0	7.1	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	7.1	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・11月中旬以降の需要停滞で、10%down。特にホテル、宴会場、式場、居酒屋は前年同期比20～30%。
- ・コロナウイルスの感染の有無により消費が左右され予想がつかない。ただトータルではマイナス要素の方が圧倒的に多い。
- ・弊社顧客の地域の小売店は、県外専門チェーンの進出、消費税増税の影響、新型コロナウイルス禍により、大きな影響を受けている。
- ・市内の対面販売クラスター発生で来店、対面販売が減少し苦戦した。
- ・GoToキャンペーンに伴い前年同月比70%位まで戻ったが、第三波の影響で再び悪化(卸売)。
治療院は影響は少ないが、人手が確保出来ず稼働率が上げ止まる(治療院)。
- ・市内で12月にコロナウイルス感染者が続々と出たことにより、更なる影響を受けている。今後も苦しい状況が続くと思われる。雇用調整助成金を受けているが、なくなった時には雇用が厳しくなってくる。
- ・令和2年に入院。退院後も病院通いばかりで仕事は廃業です。

《小 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	34.8	30.4	34.8	0.0	22.2	11.1	66.7	△ 44.4	15.6	24.4	60.0	△ 44.4
2 採算(経常利益)	27.7	42.6	29.8	△ 2.1	23.9	28.3	47.8	△ 23.9	8.7	41.3	50.0	△ 41.3
3 資金繰り	13.0	56.5	30.4	△ 17.4	15.6	48.9	35.6	△ 20.0	8.9	51.1	40.0	△ 31.1
4 従業員(含臨時・パート)	6.7	86.7	6.7	0.0	15.9	68.2	15.9	0.0	2.2	91.1	6.7	△ 4.4
5 商品(製品)在庫	14.9	68.1	17.0	△ 2.1	4.3	71.7	23.9	△ 19.6	6.5	71.7	21.7	△ 15.2
6 業況(自社)	25.5	42.6	31.9	△ 6.4	23.9	30.4	45.7	△ 21.7	8.7	39.1	52.2	△ 43.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	46.6	0.0	3.7	33.3	22.2	14.8	22.2	3.7	53.4
2 来 期	32.6	0.0	6.7	33.3	20.0	13.3	26.7	0.0	67.4

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	68.3	12.8	8.3	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	12.8	5.6	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	2.4	15.4	5.6	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	7.7	2.8	12 従業員の確保難	17.1	5.1	2.8
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	7.7	8.3	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	7.7	22.2
6 人件費の増加	2.4	10.3	19.4	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	4.9	5.1	11.1
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	7.7	8.3	15 そ の 他	4.9	5.1	2.8
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	2.6	2.8				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・コロナ禍で巣ごもり需要から、生鮮食品の売上が好調です。又、年末年始、玩具のボードゲーム等、家の中で楽しむ雑貨の売上が前年より好調でした。
- ・コロナウイルスからくる消費、特に飲食関連の消費が一時持ち直していたものが、12月は再び低調になった。この先廃業等による消費の減少が懸念される。
- ・コロナにより一般客の買い控えにより新車市場の先行不透明な状況。
- ・大阪、東京と仕入に行けず、売れ筋の商品不足。商店街に客足無し。
- ・コロナによる年末年始の帰省客が少なく、売上に影響。
- ・デイリー品は好調。地場素材を使った品好調。特注予約品は低調。
- ・通販及ネット等の増加により、販売減少につながった。
- ・寒波の為灯油需要増。
- ・空気清浄機。
- ・コロナで外出の機会が無くなり、当店は家庭着ではないので影響を受けています。閉店も考えています。
- ・コロナウイルス、雪で店売不調。
- ・コロナの影響による受注減少に歯止めがかからず、先行きが不安です。
- ・GoToトラベルの影響で、10月11月は売上が良かったが、12月はあまり良くなかった。
- ・客数の減少は、この時代やむをえない事と思っています。待ちます。
- ・コロナの為、営業できない。
- ・ここ数年では、最もタイヤが売れました。

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	38.8	20.4	40.8	△ 2.0	10.2	8.2	81.6	△ 71.4	8.3	18.8	72.9	△ 64.6
2 採算(経常利益)	31.9	34.0	34.0	△ 2.1	10.6	14.9	74.5	△ 63.8	6.4	25.5	68.1	△ 61.7
3 資金繰り	15.2	63.0	21.7	△ 6.5	2.2	48.9	48.9	△ 46.7	2.2	51.1	46.7	△ 44.4
4 従業員(含臨時・パート)	2.2	76.1	21.7	△ 19.6	4.4	66.7	28.9	△ 24.4	6.7	66.7	26.7	△ 20.0
5 商品(製品)在庫	8.1	78.4	13.5	△ 5.4	2.8	80.6	16.7	△ 13.9	2.7	73.0	24.3	△ 21.6
6 業況(自社)	19.1	48.9	31.9	△ 12.8	8.7	23.9	67.4	△ 58.7	4.3	34.8	60.9	△ 56.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	38.0	0.0	21.1	42.1	15.8	5.3	10.5	5.3	62.0
2 来 期	19.1	0.0	22.2	22.2	44.4	0.0	11.1	0.0	80.9

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	68.2	2.6	13.3	9 金利負担の増加	0.0	7.7	0.0
2 新規参入業者の増加	2.3	5.1	3.3	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	3.3
3 単価の低下・上昇難	4.5	12.8	3.3	11 事業資金の借入難	0.0	5.1	3.3
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	0.0	0.0	12 従業員の確保難	13.6	10.3	13.3
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	7.7	10.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.3	17.9	23.3
6 人件費の増加	4.5	15.4	3.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	3.3
7 仕入・人件費以外の経費の増加	2.3	10.3	6.7	15 その他	0.0	5.1	13.3
8 商品(製品)在庫の過剰	2.3	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・コロナ第3波で大変厳しい状況です。
- ・コロナウイルス感染者発表毎に、客足が鈍るのが明らかに分かった。イベント、成人式等の中止により需要が減った。
- ・1月の成人式延期の為、衣裳リースも含め開店来（53年）初めての減。全スタッフが一生懸命レッスンに励んで努力した分、本番が出来ずとつても残念でした。今後開催されても県外の学生さんが多い為参加出来るかどうか不安。婚礼も大幅減です。
- ・HPの作成などコロナウイルスの影響で仕事が増加した。
- ・コロナによって経済活動が縮小しており、業界全体として削減対象の一番手になっていると思われる。
- ・コロナウイルスの関係でブライダルが全て中止、延期になっていて売上が大きく減少している。ブライダルフォト関係業社は厳しい状況である
- ・GoToで復調傾向にあった需要がコロナ禍の拡大によって急速に悪化し、関東（1都3県）の緊急宣言や移動自粛により営業の存続を不透明にしている。
- ・GoToトラベルの停止により宿泊部門はキャンセルが多発した。出雲大社の初詣で客を見込み商品在庫を調達したが、不安不安の外出自粛で来客が70%減で不発であった。これに伴い雇用調整助成金を使っての調整に苦心した。
- ・GoToのおかげで元に戻りつつあったものが、また低迷する！
- ・コロナの影響で来期からはまったく目度が立ちません。
- ・GoToトラベルの効果で10～12月は好調だったが、GoToトラベル停止により1月～2月の予約キャンセルが後をたたず、先行きが心配である。
- ・早くコロナの収束を！
- ・一時回復をみせたが、コロナ発生状況により、また減に転じた。冬期に入り客足も鈍っている。世間が今、不要不急の外出を控える傾向にあり、しばらく先が見えないです。借入も検討して何かお客様の足のむく起爆剤を投じたいと考えています。
- ・好調だったもの→長時間滞在のお客様には店からマスクを渡す。